

平成28年度 第7回千葉県湾岸地域渋滞ボトルネック検討WG 議事概要

1. 日 時：平成29年2月17日（金）11:00～11:30

2. 場 所：千葉国道事務所 202会議室

3. 出席者

八尾 光洋	（関東地方整備局 千葉国道事務所長）〔座長〕
甲斐 一洋	（関東地方整備局 首都国道事務所長）
久保 尚也	（関東地方整備局 道路部 道路計画第一課長）
松山 隆雄	（関東地方整備局 道路部 道路計画第二課長）
松實 崇博	（関東地方整備局 道路部 計画調整課長）
菰田 直典（代）	（千葉県 県土整備部 道路計画課 副課長）
槌谷 和己	（千葉市 建設局 道路部長）
鵜澤 政幸（代）	（千葉県警察本部 交通部 交通規制課 管理官）
谷中 慎	（東日本高速道路（株）関東支社 総合企画部 総合企画課長）
川田 敏	（東日本高速道路（株）関東支社 千葉管理事務所長）
齊郷 範明	（東日本高速道路（株）関東支社 市原管理事務所長）
山崎 伸太郎（代）	（東日本高速道路（株）関東支社 千葉工事事務所 副所長）
高橋 和之（代）	（首都高速道路（株）計画・環境部 快適走行推進課長代理）

4. 議 事

（1）挨拶

・ 関東地方整備局 千葉国道事務所長

（2）審 議

・ 千葉地区の渋滞状況と対策などについて

<委員からの主な意見等>

■千葉地区の渋滞状況と対策などについて

- ・ 湾岸千葉地区の開通により効果が発現され、多くの利用者から効果の声を頂いている。
- ・ 千葉市としても新港横戸町線（H22開通）を整備し、塩田町誉田町線も事業を推進中であり、未対策である蘇我地区の渋滞対策が必要。
- ・ 県としても、未事業化区間である蘇我地区の整備は必要。
- ・ 長期的には、規格の高い東京湾岸道路（千葉地区専用部）等、ルートや構造規格などの調査検討が必要。
- ・ 湾岸地域の将来的な発展を図るためには、湾岸軸の強化は必要であり、専用部も必要。
- ・ 引き続き、京葉道路の渋滞対策を実施するが、専用部についても検討していければと考える。
- ・ 湾岸部の持つポテンシャルを十分に発揮させるため、将来に向けた湾岸軸の強化について連携しながら検討していく。

以上